



笑顔いっぱい

中曽根小学校便り

No. 16

R7.02.10



2月6日、夜中に降った雪で運動場が真っ白に。子どもたちは、さっそく運動場へ出て雪合戦。今シーズン初めて積もった雪に大はしゃぎでした。

とは言え、国内に目をやると、大雪のために日常生活に不便を強いられていたり、事故に遭ったりと大変な思いをしている方がたくさんいることも忘れていたいものです。

集会のフリー参観のご案内

子どもたちの集会の様子をご覧いただきたく、フリー参観の日を設けさせていただきます。ふだんの参観日では見ることのできない子どもたちの頑張りをぜひ、見にいらしてください。

2月27日(木) 人権集会(9:20~10:05) 体育館

○ 6年生が人権劇を公開します。人権劇を見た後、いじめや差別、偏見について学級や全校で話し合います。

3月5日(水) ありがとう集会(8:00~9:15) 体育館

○ 5年生が中心となって、6年生に感謝の気持ちを伝えます。それぞれの学年が出し物をします。特に5年生は、劇を通して6年生に感謝を伝えます。

※ 参観ご希望の方は、直接、体育館にお越しください。

※ 2月19日は、今年度最後の参観日・学級懇談です。よろしくお願いします。

ジェンダーレスについて考える授業(4年生)

4年生を対象にジェンダーレスについて考える授業をしました。3年生の時に、低学年 ver.として「男の子の色、女の子の色」という授業で、「ふつう」「あたりまえ」について考えてもらいました。今回は、高学年 ver.の「その男女の区別って必要?」ということについて考えてもらいました。初めに、NHK for schoolの動画を見ました。日本のジェンダーギャップ指数が世界125位であること、そして、1位の北欧のアイスランドでは、男女の格差が本当に少ないことなどが紹介されました。その後、グループで男女の区別について考えました。トイレや更衣室などの区別は必要だけど、制服、髪型、シューズの色、オンリーポットの色、〇〇ちゃん・〇〇くん、スポーツ、通学帽子、一人称などは不必要な区別という意見が出されました。

一人一人が「男らしく、女らしく」ではなく、「自分らしく」生きていけるよう、自分の「あたりまえやふつう」で物事を考えないよう、そしてそれを人に押し付けられないような社会になってほしいと願っています。

